

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地			
専門学校 盛岡カレッジオブビジネス	平成8年4月1日	工藤 昌雄	〒020-0025 岩手県盛岡市大沢川原三丁目1番18号 (電話) 019-651-5001			
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地			
学校法人龍澤学館	昭和38年3月14日	龍澤 正美	〒020-0025 岩手県盛岡市大沢川原三丁目4番1号 (電話) 03-5253-4111			
目的	観光業界に求められている地域の活性化と震災からの復興支援に対応すべく、観光及び旅行業務に必要なとされる知識を習得すると共に、観光資源の活用力とその発信力を身につけることを目的とする。さらには、より実践的な職業教育水準の維持向上を図り、業界や社会全体をリードできる人材育成を目指す。					
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士		
観光旅行	商業実務専門課程	観光ビジネス科	平成17年文部大臣 告示第177号	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験
2年	昼間	1800	1200	300		300
単位時間						
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	22人	1人	6人	7人		
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 テスト結果・授業態度・出席状況等の総合判断		
長期休み	■学年始め: 4月1日 ■夏季: 7月20日～8月21日 ■冬季: 12月21日～1月11日 ■学年末: 3月31日		卒業・進級条件	成績評価が全て「可」以上、年間出席率90%以上		
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 電話連絡及び家庭訪問の実施		課外活動	■課外活動の種類 地域ボランティア、イベントの参加 ■サークル活動: 有		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 旅行会社、鉄道会社、航空会社等 ■就職率 ^{※1} : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 100% ■その他 成 27年度卒業者に関する平成28年3月10日時点の情報)		主な資格・検定等	国内・総合旅行業務取扱管理者 国内・総合旅程管理主任者 国内・海外地理検定、観光英検		
中途退学の現状	■中途退学者 0名 平成27年4月1日 在学者 22名 (平成27年4月1日 入学者を含む) 平成28年3月31日 在学者 22名 (平成28年3月31日 卒業者を含む)		■中途退学率 0% ■中途退学の主な理由			
■中退防止のための取組						
ホームページ	URL: http://www.moricolle.ac.jp/					

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

教育課程の編成を行うに当たり企業等と連携する上では、本校の教育理念を理解いただき、次代を担う人材の育成を企業等と学校が一緒に行っていくことに賛同いただける企業等と連携することを基本方針とする。旅行業界では、既存の産業における旅行者への対応技術・知識に留まらず、団体旅行・個人旅行・インバウンド旅行等、実に様々な形態の旅行商品が広がる需要を受け、新たに必要になる多様な旅行者対応や添乗業務に関する概念や知識・技能・取り組み等を、関係企業や施設等職業教育機関に対して求める要望等をうかがい、これを定期的に職員会に諮り、学生の実態も合わせて考慮しながら、より効率的な教育課程の編成を検討していく。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年3月10日現在

名前	所属
工藤 昌雄	専門学校盛岡カレッジオブビジネス
高田 昭子	専門学校盛岡カレッジオブビジネス
吉澤 晴之	岩手県葛巻町 総務企画課
柴田 耕作	JTB東北 法人営業盛岡支店

(開催日時)

第1回 平成27年7月30日 17:00～18:00

第2回 平成28年2月3日 17:00～18:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

「ツアープランナー実習」や「エンターテイメント演習」や「旅行商品研究」については旅行や接客の場面で必要となる旅行知識・技能を習得し、さらには旅行企画力・運営力・商品需要・サービス精神等を実践的に得ることを基本方針とする。

「国内・海外添乗基礎」については、添乗員として必ず必要である「国内・海外旅程管理主任者」の取得を目指した講習と実習を通して、添乗員としての基礎知識と実践力を身につけることを基本方針とする。

科目名	科目概要	連携企業等
観光ビジネス概論Ⅱ	旅行のツアープランニングについての基礎知識を学び、実践的な応用演習を行う	(株)JTB東北
観光マネジメント学Ⅰ	旅行のツアーをはじめとする接客場面で、お客様に楽しんでいただくための手段や企画内容について研究と準備を行い、実践する演習を行う。	(株)JTB東北
観光マネジメント学Ⅱ	様々な旅行会社の旅行商品やパンフレットの研究・マーケティングを通して流行や商品知識、商品需要を理解する。	(株)JTB東北
旅行業務概論Ⅱ	添乗員として必ず必要な「国内・海外旅程管理主任者」の取得を目指した講習と実地実習を行う。	(株)近畿日本ツーリスト東北

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

本校・本学科の教員として必要な知識、技術、技能や授業および学生への指導力について計画的に教育し、向上させることを目的に、校内・校外において実施される研修等への参加機会を積極的に設けることを「専門学校盛岡カレッジオブビジネス 研修等規定」により定め、組織的に取り組んでいく。

ここでいう研修等には、施設等から講師を招いて学内で行う研修や学外で企業等が主催して行われる研修等への参加だけでなく、自己啓発活動への援助も含む。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年3月10日現在

名前	所属
高橋 義則	(株)北日本銀行
石塚 和宏	(株)岩手ホテル&リゾート
廣田 聖亜	専門学校盛岡カレッジオブビジネス 卒業生
佐々木 友恵	専門学校盛岡カレッジオブビジネス 卒業生
阿部 瞬	専門学校盛岡カレッジオブビジネス 卒業生
藤原 愛美	専門学校盛岡カレッジオブビジネス 卒業生
関 めぐみ	専門学校盛岡カレッジオブビジネス 卒業生
高田 昭子	専門学校盛岡カレッジオブビジネス

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL:<http://moricolle.ac.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL:<http://moricolle.ac.jp/>

URL:<http://mclnet.jp/>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程観光ビジネス科) 平成27年度											1/2					
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			観光ビジネス概論Ⅰ	観光業界のしくみや役割を理解し、将来を担う観光業界の重要性や国が目指す観光立国日本の創造に向けた取組みや概念を理解する。	1通	40		○			○					
○			観光ビジネス概論Ⅱ	観光業界に加え、国内・海外の主要な観光地や観光資源を学び、合わせて企業研究と仕事研究を行う。また地域の活性化を目指して調査を交え実践する。	2通	80			△	○	○			○		
○			旅行業務概論Ⅰ	国内旅行業務取扱管理者の国家試験に向けて、取り組む。すべての科目60%以上の正答率を目指す。	1通	270		○			○			○		
○			旅行業務概論	総合旅行業務取扱管理者の国家試験に向けて約款・実務・料金・法令を学び、即戦力で活躍できる人材育成を目指す。	2通	220		△		○	○			○		○
○			観光マネジメント学Ⅰ	ニーズにこたえられるプランニングを行い、企業とコラボで一般向けツアーを考え、実践する。	1通	130		△		○	○			○		
○			観光マネジメント学Ⅱ	2年間の集大成として既存のツアーにない地域PRと新しい観光ビジネスの普及を目的として企画し、実施する。	2通	170				○	○	△		○		
○			外国語Ⅰ	観光英語を中心に、日常会話及び旅行客などに対応できる英語力を身につける。	1通	40		○			○			○		
○			外国語Ⅱ	英語力及び、中国語、韓国語、手話等基礎を応用した語学の重要性を学ぶとともに、実務的研修と実際の英語を用いたコミュニケーションを体験する。	2通	80		○			○			○		
○			基礎教養Ⅰ	基礎学力、社会教養、コミュニケーション力、マナー、PCスキルなど社会人としての素養の習得を目指す。	1通	440		○			○			○		
合計																

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	期
	1学期の授業期間	週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(商業実務専門課程観光ビジネス科) 平成27年度											2/2				
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			基礎教養Ⅱ	社会人としての素養を深め、自ら課題を発見し、調査分析する力を養う。	2通	330		○			○		○		
合計			10 科目		1800単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
成績評価が全て「可」以上、年間出席率90%以上出席	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	18週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。